



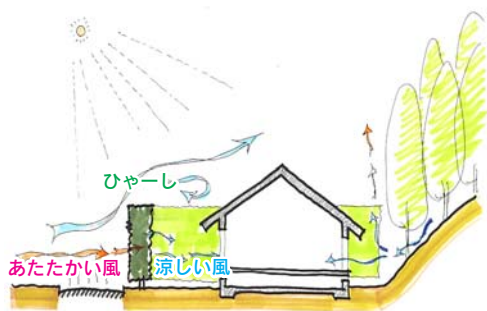
「ひやーし」ロゴ
写真展用に作成したもので、ひやーしのローマ字とマキ・ツバキの葉をデザインしています。

「ひやーし」を生かした 住まいづくりとまちづくり

松浦の代表的景観のひとつであるひやーしは、地域の特性でもあり、松浦の住まいづくりとまちづくりを考える上で重要なキーワードとなっています。

ひやーしを知る

ひやーしは、主にマキやツバキなどで作られ、沿岸部や山間部の斜面地に立地する住まいに多く見られます。また、単なる植木としてではなく、陽射しを遮ることで木の気温上昇を防ぎ、緑の葉から放出される水分が蒸発（気化）するときに、周りの空気から熱を奪うことで涼しく感じ、住まいに快適性を与えています。



同会は、ひやーしなどの

周辺環境が及ぼす室内の熱環境などの勉強会を行うとともに、温湿度測定器を使ってひやーしの表裏の気温の違いなどの計測を行っています。

こうした調査と実体験から得られた知識を、環境デザインの上や、松浦の気候・風土に適合する住まいのあり方の提案に役立てようと考えています。

ひやーしの管理を体験

ひやーしは、防風、防火、温度調整の役割のほか、きれいに剪定され、背景の山々と調和して、美しい景観を形成しています。

しかし、年々、剪定されずに放置されたものやひやーし自体を撤去してしまうところが増加しています。そ

の背景としては、その労力と費用の問題から維持することが困難になったという理由もあるようです。

そこで、剪定されずに放置されているひやーしを自分たちで剪定することで、ひやーしを守っていく苦労を体験してみるとともに、松浦らしい景観を保全していくために、「ひやーし剪定体験」を開催しています。



「ひやーし剪定体験」の様子

体験型ワークショップ（Ⅱ）共同で何かを行う場所」としてイベント化することで、煩わしいと思われがちな作業を楽しみに変え、参加者や見学者にも広く呼びかけることで景観に対する意識の向上につながっています。今後は、市民に広く呼びかけ、みんなで楽しみながら

ひやーし景観の保全を支えるイベントとして発展させていくことを目指しています。

ひやーしを市民に紹介

ひやーしの効果と事例を市民に広く知らせることを目的に、「ひやーし写真展」を開催しています。

来場者からは「普段気にかけることのない風景も、こうしてみると宝物だと実感します」といった声が数多く聞かれるなど、評価を受けています。

写真展は継続して行い、来場者への苗木プレゼント、ポストカードの作成、写真コンテストなども検討し、多くの市民に紹介していく予定です。

きらきら21で開催された「ひやーし写真展」の様子





イルミネーションを点灯した中央公園の様子



竹灯ろうへの点火の様子

みんなで行う

住まいづくりとまちづくり

同会のこれまでの取り組み実績を基に、市民参加型の住まいづくりとまちづくりへ活動を広めていくには、市民の関心を高め、市民が参加できる体制づくりが必要で

まちを明るく

ーびかびかまつりー

同会の新しい取り組みとして、市民が参加でき、人が集まるイベントで、まちを明るく、人の集うまちにしようとして12月16日から29日までの14日間、中央公園をイルミネーションで飾る「びかびかまつり」を開催しました。

期間中の午後6時から午後10時まで約1万個の電球を使ったイルミネーションを点灯しました。また、クリスマスイブの12月24日には、約130個の竹灯ろうにろうそくを灯し、訪れた人の目を楽しませました。

今後は市内企業や一般の人にも参加してもらい、地域活性化のイベントとして位置づけまちづくりを考えていこうとしています。また、中央公園では、市民のイルミネーション作品のコンテストも検討し、市民参加へとつなげようとしています。

市民と協働による

まちづくり

同会では、市民が参加できるまちづくりのイベントなどを企画するとともに、

多くの市民の協力を得て

子どもたちへ明るい未来を



松浦住まいづくり研究会座長
古本修司さん
(御厨・市場、31)

松浦住まいづくり研究会では、建築関係者18人が毎月集まって、これからの住まいづくりやまちづくりに関しての話し合いを行っています。

今後は一般の方の意見も聞きながら会員を増やし、松浦らしい住まいづくりを目指して、福島町や鷹島町にも活動を広げていこうと考えています。

会の活動は、昔から受け継がれてきた「ひやーし」などの環境にやさしい宝物を活用しながら、これからの子どもたちの明るい未来へ、地域特性を生かした住環境を残していくための活動の一つだと考えています。

また、これからのまちづくりは、行政だけに頼るのではなく、多くの市民の知恵と力が必要です。多くの人の協力を得ながら、誰もが「住みたい」「住み続けたい」「住んでみたい」と思うまちづくりを進めたいですね。

まちづくりに関連する建築士会や建設業組合、造園業組合、他のまちづくり団体などと連携を図ることを目指しています。

また、県・市など行政への

働きかけを行いながら行政担当者を引き、学習会やシンポジウムを開催するなどさらに活動を広め、市民と協働によるまちづくりを目指しています。